

家戸数につきましては、685戸となっております。

また、市は県内第4位の農産物の産出額を誇っており、部門別では、野菜83億7千万円、水稲30億7千万円、畜産30億6千万円、花卉類等で17億1千万円となっております。

野菜を中心とした部門の比重は大きく、約半分を占めています。主な野菜としては、ネギ、ニンジン、ダイコン、サトイモ、トウモロコシとなっております。

成東駅周辺の整備事業について

Q 現在、成東駅周辺では4つの整備事業が進んでいるが、現況はどうか。

A 都市建設部長 成東駅周辺の整備に関しては、①駅前広場は都市整備課、②和田―東町線は土木課、③自転車置き場の整備は市民課、④成東駅南口線は千葉県の施行となっております。

このように、4つの部署にまたがり、一大プロジェクトとなっておりますので、それぞれの施行主体が連携して、事業を進

めていきたいと思っております。

A 都市整備課長 ①駅前広場の整備事業につきましては、関係する地権者と用地交渉を進めています。地権者10件のうち3件の契約を締結いたしました。

取得するべき面積の7割を取得したところで、また、駅前広場本体工事の準備として、工事の実施設計を進めているところです。

A 都市建設部長 ②和田―東町線の整備状況ですが、昨年度に測量と警察協議が終了しています。現在、地権者の了解を得て、用地の幅くいを打ち、確認をしていた

だっている状況です。道路の幅員は10メートル、歩道に関しては片側歩道で2.5メートルを計画しています。また、車道の両脇1メートルずつを自転車を通れるような形で、マーキングを設置したいと考えています。

A 都市建設部長 ③駐車場と自転車置き場ですが、道路にかかりますので、再整備します。駐車場は廃止し、自転車置き場を増やしたいと考えて

います。

A 都市整備課長 ④千葉県施行の成東駅南口線につきましては、平成30年度の供用を目指し、平成25年度から用地交渉を開始しました。

平成26年3月末で、全体面積約4千610平方メートルに対しまして、約600平方メートルを取得したと伺っています。

関連質問



林 善和 議員

農産物のブランド化について

Q 市の農産物を使用した開発商品は、どのようなものがあるか。

A 経済環境部長 イチゴを素材としたイチゴプリン、イチゴジュエラート、イチゴリキュール、イチゴ酢などがあります。また、ほかの素材では米粉麺、野菜ドーナツ、ブルーベリー酢、ニンジンジュースなどが

挙げられます。

Q 今後、開発商品とが期待されているか。

A 経済環境部長 各種団体の協力によりまして、イチゴサイダーやイチゴミルク、ネギ煎餅、ネギまんじゅう、フリーズドライイチゴなどが期待できます。これらの商品化や販売に向けて、努めていきたいと思

Q 市は、農産物のブランド化について、どのように取り組んでいくのか。

A 経済環境部長 「山武市」というブランド名がつけられたときに、ど

のようなイメージがあるのか、現状ではまだ確立されていないと思っております。

ブランドを確立するには、業種や組織の壁を越え、農業と商工観光を一体的に結びつけた取り組みや連携が必要であると思

また、市民の皆様が市に愛着と誇りを持ち、市内外に市の良さや魅力を発信してもらえよう、さらなるシテイセールスに取り組んでいきたいと思



イベントなどで開発品をアピール

代表質問



能勢 秋吉 議員

市長の3期目の市政運営について

Q この4年間で何を重点施策として取り組んでいくのか。

A 市長 総合計画に基づいて、しっかりとやっています。行政は一点豪華主義ではないけ

Q 市長が選挙のとき

には、市民に約束したことは、市政運営の基本であると思う。今後、市民に対し、どのように情報を出していくのか。

A 市長 総合計画をしっかりとやっていくことを基本に置きたいと思